

183. マルアジ



◇撮影後のコメント◇

マアジより、濃いと感じた。そのマアジより、アジっぽい風味がくどいと感じられる方も、いらっしゃるかもしれないが、当方とはとても好いと感じた。また、個体差があるかもしれないので、味や風味は一概に「これに限る」とは言えないのも事実。それでも、前日の刺身が強い旨味と風味をと、当日の酢飯との相性は頗る好かった。鱈の味がした。

確信犯。「違法では絶対ないと確信した”行為”が違法となる」が、本来の意味となるが、多くの方が、「違法と知りながら、違法とされる”行為”をしてしまうこと」として認識し、「それが正しい認識」と”確信”して使用されている。

店頭には「ムロアジ」と表示があったが、絶対”ムロアジ”ではないし、”マアジ”でもないことは、見た瞬間即、気が付いた。が、それで「何か」と尋ねられても返答に困るから、黙って購入した。調べ始めると、容易に「マルアジ」と判明した。口の方から眺めると”丸い”ことと、尾ビレの根元に小さなヒレ（小離ビレ）があったことが根拠。

”不当表示”は”何法”に抵触するのかは、専門家に委ねることとするが、魚の専門家が「マルアジ」と「ムロアジ」を取り違えるなんて考えられない。お陰様で、安く購入することが出来たから、実害は全くないが、”専門家”のレベルの低さにウンザリだ。